

科目名		建築関連法規			
担当教員		渡邊晋太郎		実務授業の有無	有
対象学科		建築士科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		選択	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築の施工に関する関連法規の基礎を学習し、 2級建築施工管理技士の学科試験対策が円滑に進められるようにする。			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験（学科）の合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		2級建築施工管理技士 要点テキスト（令和3年度版） 図説 やさしい建築施工（学芸出版社）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	施工管理法			2級建築施工管理技士（学科）を見据えて、要点テキストを使用し1年次の復習	
2	建築基準法			2級建築施工管理技士（学科）を見据えて、要点テキストを使用し1年次の復習	
3	建設業法			<ul style="list-style-type: none"> ・建設業の許可について ・建設工事の請負契約について ・主任技術者及び監理技術者について 	
4	労働基準法			<ul style="list-style-type: none"> ・労働契約について ・労働者の保護について ・就業制限について 	
5	労働安全衛生法			<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理体制について ・工事・設備計画の届け出について ・就業者の安全衛生について 	
6	環境保全関係法			<ul style="list-style-type: none"> ・騒音規制法 ・廃棄物処理法 ・リサイクル法について 	
7	その他の建築施工関連法規			<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法 ・消防法等 ・道路法等 	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題点数	課題取組状況	課題提出締切		施工管理の課題（過去問等）の取り組み方や点数、課題提出の締切が守られたかなどを加味して評価する。 2級建築施工管理技士は近年難易度が上がってきている。半端な知識では太刀打ちできない。今からきちんと準備を行い、1か月後から始まる試験対策週、及び本番に万全の対策をして臨んでほしい。	
50 %	40 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務9年			